

地域の誇り
こころの復興へ

神さま 仏さま の復興

被災文化財の修復と継承



2013年 11月16日(土) — 2014年 1月13日(月祝)

開館時間：午前9時30分—午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日：月曜日(祭日を除く)と12月24日(火)、12月29日(日)~1月4日(土)
観覧料：一般500円(400円)/シルバー400円(320円)/高校生200円(160円)/小中学生100円(80円)
※シルバーは平成23年12月31日以前生まれ(平成26年1月以降は平成24年12月31日以前生まれ)の方
※1円は20人以上の団体 ※ホームページで修復祈念展覧会とします

主催：東北歴史博物館
共催：東北新聞社/仙台放送局
後援：多賀城市/多賀城市教育委員会/多賀城市観光協会/多賀城・七ヶ浜商工会/TBC東北局/
気仙沼放送局/仙台放送局/仙台放送局/朝日新聞仙台支局/毎日新聞仙台支局/
東北新報東北総局/新報新報東北総局/宮城ケーブルテレビ/エフエム仙台

東北歴史博物館 TOHOKU HISTORY MUSEUM
〒985-0862 宮城県多賀城市青崎1-22-1
Tel.022-368-0106 Fax.022-368-0103
http://www.thm.pref.miyagi.jp/

■交通案内：JR東北本線「国府多賀城駅」徒歩5分(約合6分14分)/無料駐車場(19)台・大停バス10台



復興祈
念特別展
宮城県河合地区事業

神さま仏さまの復興

被災文化財の修復と継承

東日本大震災により、宮城県内に所在する文化財も甚大な被害を受けたものが少なくありません。現在、復旧復興事業の環として、これらの修復事業が進められています。

この特別展は、被災文化財のうち神像や仏像など、地域の信仰の対象でもあり、地域コミュニティのよりどころとしての役割も果たしてきた文化財にとくに焦点を当て、これらの修復事業の完成を慶び、文化財の修復と未来へ受け渡すことの大切さを理解していただくようとするものです。

展示では、修復が完了した神像や仏像の公開はもとより、修復の工程などを写真パネル等により、分かりやすく解説します。

この特別展が、神像や仏像の歴史的な意義や役割をふりかえり、これらと共に歩む地域を再び思い起こすきっかけとなるよう願っています。

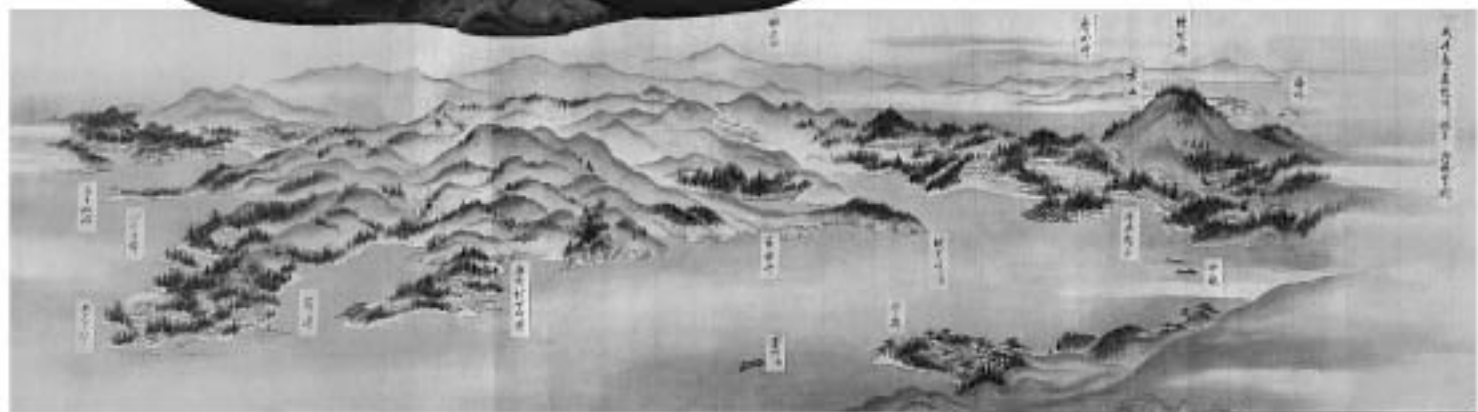
この特別展は、文化財のご所有者、文化財を護り伝える地域の方々、文化財の修復に携わる方々をはじめとする多くの皆さまのご理解とご協力のもと開催されます。



被災文化財
(圓空佛立像)
高田野野原神社 高田町



被災文化財 (廣田北山坐像)
北禅寺 栗原市



伊達重邦退屈巻 巻第一(部分) 弘化四年(1823)頃制作



西澤宗 (千手観音菩薩坐像) 貞観院 青田町



《毘沙門天坐像》 清原神社 栗原市



被災文化財
《神威天坐像》(部分)
宮林寺 栗原市



【交通案内】
 ●JR線各利用の都合
 東北本線「国府津駅」より徒歩約14分
 羽仙石線「多賀城駅」より徒歩約25分またはタクシー約10分
 ●車をご利用の場合
 仙台東部道路「仙台東IC」から約10分
 仙台北環状路「利府IC」から約15分
 国道4号仙台市センターから国道45号線を仙臺方向に3km(約25分)
 仙台港フェリーターミナルから約15分
 無料駐車場(191台・大型が410台)

東北歴史博物館
 TOHOKU HISTORY MUSEUM
 〒985-0862 宮城県多賀城市高野1-22-1
 Tel.022-968-0106

関連行事:
 ① 東日本大震災復興祈念特別展「神さま仏さまの復興」記念講演会
 日時:12月22日(日) 午後1時30分〜/場所:当館講堂
 講師:川瀬由信(お茶の水女子大)氏(文化庁次長補佐兼東北文化財センター長)
 演題:「文化財としての仏像修復―被災文化財の修復と継承を念じて―」
 ※特別観覧券が不要です
 ② 拓殖大学美術館による展示解説
 11月20日、12月4日、12月18日、1月8日
 ●いずれも大震災の午後2時25分開始
 ●会場のお土産を学芸員の解説と合わせてぜひ
 ※特別観覧券が不要です